昭和四年三月廿九日 第三種郵便物認可 （三十日夕刊） 昭和四年十月卅一日 THE TOHOKU.NICHINICHI,SHINBUN （木曜日） 第二百五十五号 （一）

夕刊 東北日日新聞

年中無休刊

本紙一ヶ月三十錢 郵税一五錢一部三錢
廣告料一行五〇錢 場所指定三〇錢增
發行兼編輯印刷人 石井孝
發行所 福島縣石城郡平町白銀町十番地 東北日日新聞社 電七五七

農村電化の御手本

錦村實行組合で聯合精米所設置

成績は極めて良好

石城郡錦村江栗、鬼越下、鈴鹿、下の後三實行組合は聯合精米所を設置して自家用は勿論生産玄米を精米として**販賣を**計画し更に將來農村すべてを動力化し共動經營を計るべく組合員五十名金一圓宛の出資にて其他は同村信用組合より借入れ機械設置總額四百圓にて同村殆んど中央なる高木深氏宅地内に設置され組合長を金成源右衛門副長を山野邊良助會計高木松太郎機械管理人高木深氏等當選し其他**評議員**六名を置き本月十五日より開始されたが成績極めて良好にて各町村より經營視察者を集めてゐる農村電化は勿論共同經營を待たねばならぬがその經營は容易でない錦村農會技手穂積昇氏は精米所共同經營普及は農村の急務とし電化の魁であると力説し中田に一ヶ所江栗に一ヶ所と二組合設置され**農事實**行組合の事業として精米所は實に本郡各町村に誇るべきである

名簿作製に

アセだくの平町

概數も未だ判らぬ

平町では來月一日告示をなし同月五日から十五日間縱覽を許すべき九月十五日現在による衆議院並に縣町會議員選擧人名簿作製を急いで居るが有資格者か無資格か更に調査を要すべき者が無數にあり今明日ではとても片付きさうもないので伏見町長もあせり出し町長自ら手傳つて居る仕末で去る二十日までに縣に報告すべき筈の概數もあげられてゐない勿論來月一日の告示を行ふまでには決定するであらうが締切日を僅か一、二日に迫つて居る今日目鼻がついて居ないところから見るとたとへ出來たとしても完全なものとは信ぜられぬやうにも思はれこの名簿調製の大澁滯は町民から尠なからぬ注目を受けてゐる

昨日の競賣は

結局三十五名だけ

昨年よりは僅かに

五名を増したのみ

平町の前年度町税滯納をなしたものの財産差押へ品の競賣は二十九日午前十一時から町役場に執行したがさすが競賣ときいては納入するものが多く滯納總額三千八百七十六圓五十二錢のうち處分に附されたものは三十五名二百六十九圓九十一錢に過ぎなかつたが不景氣の結果電話權の差押へに對し二百八十圓が最高といふ始末で百點に近いうち豫定價格に達したものは一つもなく一點も賣れず近く再入札をなす筈で昨年に比すれば人員に於て五名金額に於て百九十四圓九十七錢增であつた

リヤカーを拾ふ

平町材木町武田友八は二十九日自宅前で大型リヤカーに野菜籠を積んだまゝ放棄してあるのを發見三十日平署に届出た

黨中黨を造る

石城民政のお歴々

縣參の顧問一任も一時しのぎ

若松、野崎は愈々爭ふ

石城民政黨部會が縣參事會員の椅子爭ひから從來裏面で續けられてゐた野崎、若松兩縣議の間が表面的抗爭をなす結果を招來したこの縣參問題が抗爭の根本原因をなし更に最近種々な問題が起きて**民政黨**部内には黨中黨が生れお互に勢力爭ひをなしてゐる去る二十七日午後から開催された部會の總會は危險な雲行を孕み一騷動持ち上るものと豫測されてゐたが部内の穩健派が部會に於て參事會員を選定する事は**反目の**溝を深くするものであるから縣參候補者の選定は部會の顧問に一任する事といふ案を出しいづれも之に贊成した爲め部會總會は問題も起らなかつたが同部會の顧問は志賀猪之松、漆畑元吉、箱崎亀吉、小松春治、菊地三郎の五氏であつてこの**顧問が**若松、野崎兩氏の中何れかを選出するとすれば種々な關係から若松氏を推薦するものと見られる兎に角重大なる選定權を與へられた左記五氏は來る五日顧問會を開いて協議する事になつたがこの顧問一任は要するに**急場し**のぎ程度のものであつて縣參改選期日切迫と共に兩派の爭ひが猛烈なり深刻化して來る事は必然の事と見られてゐる

◇……明日の天氣……◇
◇…（小名濱測候所）…◇

明日は朝一寸曇りますかすぐ恢復します

煙草のすいからから

石城郡内郷村磐城炭礦製作所から發火し原因については平署が調査の結果雜夫の煙草のすいからと判明した

女房に去られた

好間村の若者

昨夜覺悟の服毒自殺

一通の遺書をのこして

石城郡好間村下好間大舘居住長谷川清松（二三）は二十九日午後八時頃劇藥キニイネを多量えん下して自殺を遂げたが原因は同人は昨年湯本町の佐藤ヨシノ（二一）と結婚したが清松が右手のない不具者なので之をきらつて今春福島方面へ家出した處が清松は去つた妻が戀しくなり直ちにヨシノの後を追つて萬年筆の行商をしながら福島地方へ旅立つたが過般計らずも福島市でヨシノに廻り合ひ同人は非常に喜びヨシノに歸國を迫つた處ヨシノには既に夫があるので悲觀して直ちに歸宅して獨りもだへてゐたが遂に

私はこの世がいやになり死にます

と云ふ遺書をのこして前記の如く覺悟の自殺をなしたものである

磐城訓盲院を

愈々縣へ移管

町當局並に訓盲院が

猛運動を開始す

磐城訓盲院を縣立に移管せんとする問題は多年平町民の希望する處であつたが三十日の町會に之が提案され運動する事となつたが一方訓盲院の理事長である水野虎三郎氏も平町と呼應して移管運動をなす事となり三十日小柳知事宛に左の如き移管申請書を提出したが縣では盲ローア學校を縣下二ヶ所に設置する意嚮であり候補地に平町を擧げられておるので地元平町の運動によつては實現容易なものと見られおる

移管申請書

本院は明治三十九年十一月日露戰捷記念として石城郡教育部會の創設に係り大正十一年五月財團法人組織となし石城郡教育部會を放れて獨立し

中略

發達進歩を阻碍するのおそれ有之候飜て本縣に於ては時恰も盲あ學校建設の時期に到達せる折柄茲に本院の設備資産を擧げて縣に移管し以つて盲敎育をして完美なる發展向上を遂げしめ度何卒特別の御詮議を苦哀御採納被成下此段申請候也

昭和四年九月一日

財團法人磐城訓盲院理事長
水野虎三郎

福島縣知事 小柳牧衛殿

平町會

愈々幕あく

議場最初から

殺氣立つ

波亂を豫想されて三萬町民から尠なからぬ注目されてゐた平町會は既報の如く定刻より三十分遲れて三十日午後一時半から町役場會議室に開會した議事錄署名人決定各人を滿場にはかり異議なく可決後へき頭

馬目町議は 吾々四五の議員が電燈料値下げ運動をせぬ口約のもとに東電より若干の金員を收受したもの〻如く宣傳しておる者あり誠に町議中で正義派と稱する者が誠しやかに語り歩く事は甚だ迷惑であるとして金員收受を否認して降壇すれば

井上町議は 東電よりの金員收受に私も關係しておるが如く傳へられておるが私は絶對にそうした事に關係はしてゐませんと前提し電燈値下げ問題に就て會社重役と一二の席で會合した點のみを釋明するや―

野崎町議登壇 反對派の人々が盛んに電燈問題や平電氣會社等が私が元兇となつて金員を收受した如く宣傳してゐますが甚だ迷惑でありますと一言して平電氣との關係並に東部電重役との關係を語り最後になつて私が金などもらひましようかと太見得をきつて降壇すれば

千葉町議登だん 野崎町議等が撒布した水道反對の聲明書を見ると野崎氏等の意見では平町の水道擴張は三十七万圓の町豫算の十分の一で出來る樣に見受けられるが若しそれで出來るとすれば平町川萬町民並に吾々町議は豫算と云ふものに對する概會がちつともない事となるが然し平町の水道擴張はそんな安い金で出來るものではなからうと思ふがと

野崎町議等の聲明書を反ばくして降だん （午後二時）

塔中の怪（八）

無名氏

それは私が此豪洲旅行を企つる丁度三週間前――季節は櫻散る六月の初旬ある日の事私はいつものやうに朝早く起き障子にうつる朝日影を眺めて最早六時に近からん急ぎ學校におもむかんとて家を出た伯爵の玄關から正門までは余程長く迂曲せる坂道の中央には奇麗な砂利を一面に布きつめ其の兩側は青々とした芝草に縁とられたる西洋風の花園で四季その折々の花は絶えず艶を競ひ香を爭つて居る私はいつものウルフルナ式自轉車をひき出して細かな砂利路は乘るも不便とそのまゝ歩を進めて正門のほとりに近づいたがふと門の此方右側の花園に二人の人影を認めた一人は當家の侍女お梅といへる女他の一人は我れ等が天女にも似たる雪子姫であつた姫は今朝は朝露の乾ぬ前に起き出でて此の季節には珍らしき早咲の朝顔を眺めんとして侍女と共に此の花園へ來たのである、朝顔は僅かに二三輪姫はたのし相に其の紫と紅の清き風情を眺めて居つたが私の輪の音を聞くより一寸振り返へり

『おや武田さんもう學校へいらつしやるの！』

と、言ひつゝ仰いで朝雲の景色を眺めたが

『まだ早いのでしようちよいと御覧なさいまぁ奇麗な朝顔が咲きましてよ』

と云ふ、私は時計を出して見ると、最早六時を廻つて居るので朝顔は見たいが遲刻は出來ぬ、

『もう六時過ぎ十分また――拜見しましよう。』と言つたまゝ、歩行停めんとはせで、其の儘行きかけると姫は朝顔の許を離れて、二三歩進み近づき

『だつて、よいのでしよう貴方男でいらつしやるもの、少しお急ぎになればば遲刻なんかはしませんわま、一寸來て御覽なさいよ、眞實に奇麗な朝顔なんですよ、今朝はじめて咲きましたの貴方、あさ顔はお厭ひ？。』と自轉車のハンドルに手をかけた。

私は困つた。

『あさ顔――奇麗ですが私も大好きなんですが』

と言ひつゝ、形式的に一寸首を延して、

『はあ、成程あの紅と紫とですがイヤ實に珍らしい〳〵、いづれ夕刻に歸つて、よく拜見致しましよう。』

『夕刻に？、ほゝゝ、あさ顔ですもの、晩にはしぼんでしまいますに。』と姫は可笑し相に侍女と顔を合せて、ホヽヽと笑ひ興する間に私は素早く鞍にまたがつて『左樣なら。』とばかり輪を進めたふと、振返つて見たが、姫は何故か此の時笑聲を止めて、じつと私の方を眺めて居つた。其の眼元。その口元―私の心の迷ひかはしらぬが何となく憂ひを帶びて、物淋し氣に恰もひめは後には何者か形無き或大魔物が現はれて今の樂しき笑聲をば一時に奪ひ去つたかの樣に見える。私は正門を出でて、今一度ひめの方をながめたが、ひめは矢張り物淋し相に、私の行方を見詰めて居る。一町程行つてまたも振り返へつて見たが、此時はひめの姿は見えなかつた

西洋料理　丸昇軒　電話四三九番

……◇大自然の囁き純情溢る愛と誠と絶の青春大悲曲感激の逸作◇……

雲雀囀く里

平和の里の奇自然に溢る姉妹愛一人の惡人もなく醸し出さる此の譚りて

松竹が斯界に誇る近來の大作品……

原作 監督　野村芳亭
脚色　野田高悟
撮形　小田濱太郎

主演　八雲惠美子　田中絹代　奈良眞養　結城一郎

…◇十月三十一日寫眞替り◇……

時代戲曲　戀飛脚　全
デブチャン　中根龍太郎　主演
若月孔雀　浦波順磨子　助演
例のデブちゃん獨特の好演出であらオットリとり時代相を描く

學生デー
土日曜學生優待　中學生十錢　小學生五錢
料金普通

平館　電四六六番

大劍戟史　大鬪陣　全
清川荘司　主演
常磐操子　櫻井京子　助演
劍光閃々火花と化して凄氣横溢悲戀をめぐりて哀慾味ある大劇陣

早くて安い…そして石版と活版の印刷屋は…はてどこだらう……？

平町田町
高久病院
電話五一三番
內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄

世界的婦人藥王
責任藥無効返金

BISHINGAN
子宮座藥
美神丸

此の有名な美神丸を、夫婦仲のよくなる美神丸を數ケ年に亘る惡性の子宮病に悩む人を研究臺として發明したる理想的藥劑主婦之友、婦人倶樂部、婦女界、婦人世界等有名四大雜誌に効果が發表になつてあります
定價一週分四十錢　十週分參圓五拾錢

●無代進呈の方法もあります
●知らぬ御方がまだありますか

地方代理店
平町古鍛冶町（縣社ノ下）
阿康藥店
電話四四番

洋食ハイウキ食堂
電話四六。

冬の學生服

是非冬服もなかやで

コレならと自信を持てお奬め出來る生地裁縫共に申分ない黑小倉服です

小學生用（長ヅボン付）

一號	七八歳用	一圓八十錢
二號	八九歳用	二圓〇〇錢
三號	九十歳用	二圓二〇錢
四號	十一十二歳用	二圓四十錢
五號	十二十三歳用	二圓六〇錢

中學生用

六號	一二年生	四圓二十錢
七號	二三年生	四圓四十錢
八號	三四年生	四圓六十錢
九號	四五年生	四圓八十錢

◉各學校制定ボタンハ十五錢高
中學外套も十月中旬より賣出します

平二丁目
なかや洋服店
電話二〇五番

突飛な安賣り
新工場落成三週年記念　半額大賣出し
特賣品（簞笥、戸棚、茶簞笥、火鉢、本箱、机、椅子、テーブル、）
期間　十月三十一日まで
賣切れぬうちお早いが勝ち
㊍丸ほん家具店
營業所　平町三丁目　電話五三九番
製造所　平町新田前　電話七二三番

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九番

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は三四三番
サシミ

冬帽子と……ワイシヤツ
玉屋洋品店
平町田町通り
電話六五六番